

2019(令和元)年度 第5次総合計画施策評価シート【年度初め用】

| | | | |
|------|-----|-------|--|
| 担当部署 | 土木課 | 政策調整課 | |
|------|-----|-------|--|

| | |
|------|--------------------------------|
| 基本目標 | 4 みんなで“活かす”～住み続けられる・魅力あるまちづくり～ |
| 施策 | 17 道路・公共交通 |

| 施策の方向・内容 | | 具体的な事業内容 |
|----------|---------|---|
| 1 | 幹線道路の整備 | (土木課) 道路舗装修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、主要な町道の舗装整備、橋梁の修繕工事を行い、道路施設の維持管理に要する費用の平準化と縮減を図る。 |
| 2 | 生活道路の整備 | (土木課) 快適な生活空間の創出のため、地区からの要望に基づき地域の実状に即した道路の整備を図る。また、国道・県道の整備に合わせ、周辺の生活道路における交通安全対策の整備を図る。 |
| 3 | 公共交通の充実 | (政策調整課) 地域公共交通に関する研修会やシンポジウムへの積極的な参加や、近隣市町の動向や先進事例に関する情報収集を行い、また、住民のニーズ、地域公共交通(コミュニティバス、デマンド交通等)や交通弱者(高齢者、障害者など)の助成事業に関する調査を行い、本町に適した地域公共交通のあり方について検討していく。 |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |

| めざそう値・指標名 | 指標の定義 | 基準値(H28) | 実績値 | | | | | |
|------------|-------------------------------------|------------|----------|---|-------|-------|-------|--|
| | | 目標値(R04) | H30年度 | R元年度 | R02年度 | R03年度 | R04年度 | |
| 1 町道側溝整備延長 | 平成30年度以降に新設する雨水・生活排水に機能する側溝の整備延長(m) | - 3,500 | 708 ○ | 5か年で3,500mを目標値としているので、年間700mであれば達成していると考え | | | | |
| 2 | | | | | | | | |
| 3 | | | | | | | | |
| 4 | | | | | | | | |

| 前年度の評価を踏まえた今年度の課題 |
|---|
| 1)2)橋梁の長寿命化を図ることを目的とした予防的修繕をおこなうことで、事業費の縮減と平準化を図ることができた。また、安心・安全に住み続けられるまちづくりに向け、地区要望に基づき生活道路における交通安全施設の設置を行っているが、限られた財源の中で地区要望の全てを満たすことは年々困難になってきているため、よりいっそうの集中と選択を行う必要がある。 3)地域公共交通に関する研修等への参加や先進事例の視察を行い、地域公共交通のあり方を考える為の情報を収集することができた。今年度は、現状に対する住民のニーズ・意見の把握を行い、町に必要とされる公共交通のあり方について検討していく必要がある。 |

| 前年度の評価を踏まえた今年度の改善策・方針 |
|---|
| 1)2)主要町道に架かる8橋梁については、既に橋梁の長寿命化修繕計画に基づく修繕工事が完了しているので、今年度からは平成29年度修繕計画を策定した7橋梁を計画的に修繕工事をおこない、ライフサイクルコストの縮減をする(H31:白雲寺橋・新田橋 R02:突田橋・迫間橋 R03:73号橋・74号橋・なかよし橋)。また、生活道路における整備については、地区要望と学校からの通学路交通安全施設設置要望の全てを満たすことは難しい為、今後はよりいっそうの優先度と効果の点から検証を行っていく。 3)公共交通の利用者となる住民のニーズ・意見をアンケート調査により集約し、町として必要とされる公共交通のあり方を検討していく。 |